

# ボガズバツ!

スバツ!とお届け ボランティア情報

2018 January

1 [Vol.25]  
月号

らむらむらに時に備えらむらむらに  
らむらむらに時に備えらむらむらに  
なんだらう?

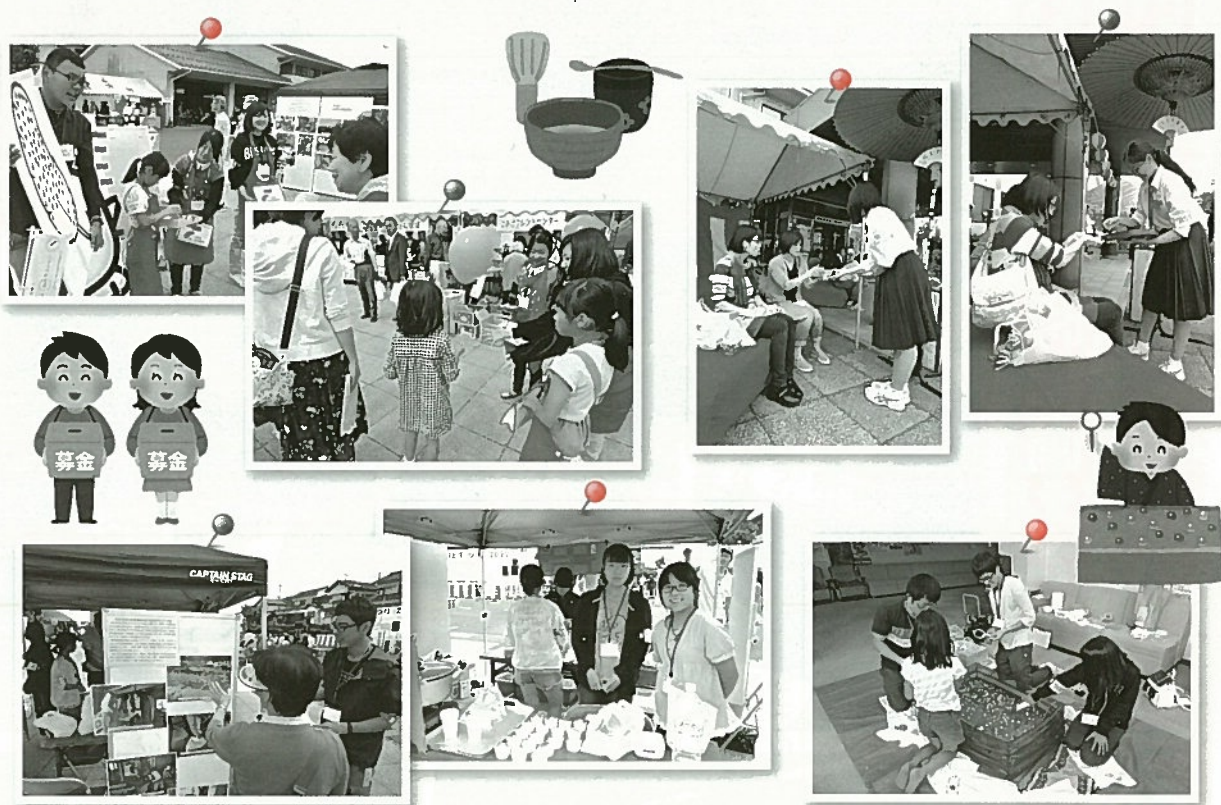


## 船岡ボランティア連絡協議会

鳥取県西部地震展示交流センター(日野町)で、研修を受けました。住民として、地域で活躍するボランティアとして、「災害にも強いまちづくり」のために、自分たちができることを考えます。

# 「福祉まつり2017」の ボランティアをレポート!

福祉イベント「福祉まつり2017 ～何かをはじめのチャンス!ボランティアGO!～」が10月1日、郡家老人福祉センター特設会場で開催されました。このイベントでは、屋台出店団体やステージ出演者の皆さんの他、ボランティアの皆さんの活躍によって、大盛り上がりとなりました。大人の方だけではなく、10～20代の若い方々にもボランティアスタッフとしてイベントに参加していただきました。



小学生から大学生、社会人の各世代が入り混じったチームごとに、スーパーボールすくいや輪投げなど子ども向けゲームコーナーや、災害ボランティアのPR特設ブースの運営、赤い羽根共同募金の呼びかけ活動に取り組んでいただきました。

その他、八頭中学校の茶道部の皆さんにはお茶席のお手伝い、手話サークル「やす手話の会」の皆さんには手話ボランティアとしてご協力いただきました。

ご参加いただきありがとうございました。

## 雪かきボランティア大募集!

ご協力いただける方の事前登録を受付しております。

地域の誰もが安全で安心して暮らせるために、力を貸してください。

詳細は、八頭町ボランティアセンターまで! 電話 0858-72-0021



# 地域ボランティアの話題

## 配食調理ボランティア

### わくわくごはん

さへらんぼグループ 北村 美恵子

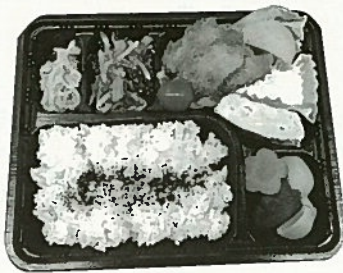
旧船岡商工会女性部のメンバーで年に7〜8回の配食調理ボランティアを続けています。

私は活動を始めて7年くらいですが、時間の都合をつけて8時半に集合し、その日の献立の説明を受けてから皆で暗黙の了解のもと、それぞれの料理を作り始めます。

家で、作る分量とは違って量が多いため、「これでいいのかな」と皆で味見しながら賑やかに進めています。思ったような味にならずとも工夫して味を整え、定刻までには仕上がっています。どれも手作りで、お弁当箱に詰めていくと色合いも良く、手前味噌になります。とても美味しそうです。

又、年に1回は利用者の皆さんとの会食があり、ここ3〜4年は続けて参加しています。普段は地域の皆さんと話をする機会はありませんので、作った料理と一緒に頂きながらお話をするのは違った新鮮さがあります。「美味し〜で〜」と喜んで食べてくださるのは嬉しいものです。

この活動を続ける事でメンバーとの繋がりが強くなり、利用者の皆さんとの交流で逆に元気をもらっているように思えます。



## 子どもたちのために

### 地域のために

ミモザ・mam 守部 真智子

こんにちは、ミモザ・mamです。

平成19年に結成し今年で10年目になります。旧八東小学校で母親委員会サークルとしてはじまり、今日まで続いています。年齢問わずいつも明るく元気なママさん11人のグループです。今はもつ閉校してしまつた旧八東小学校時代をなつかしく思い、また、新しい活動も含め楽しんでいきます。

ミモザ・mamの活動としては、小学校の卒業生・新入生の子ども達へのお祝いにお菓子を手作りしたり、地域の行事へ参加したりしています。活動を始めた頃は子ども達を温かく見守つていこうと活動していましたが、現在は私達自身が住んでいる地域を少しでも活性化できたらいいなと願いながら活動を続けています。

『できることをできる人が』をモットーに、これからもわたしたちメンバー自身が楽しみながら地域貢献できたらと思つています。



## 「聴くことの大切さ」

### 「話すことの大切さ」

傾聴やす「つなづき」 平木 初江

何度となく心が折れた時、心の内を聞いてもらつて少ずつ心が晴れ、自分を取り戻した。聴き手の方が私の話を丁寧に聴き取り、会話を重ねるうちに気持ちの整理がついたこと。今振り返ってみると、このような過去の体験で得た「自分と向き合うには話すことが大切だ」という気持ち、自分の傾聴ボランティアとしての活動につながつたように思います。

以前、傾聴ボランティア養成講座を受けたことを思い出し、八頭町社協を訪ねてみました。職員さんからボランティアグループ「傾聴やす「つなづき」を紹介され、「できるかな？」と思いつつも入会しました。郡家サービスで行なう月1回の傾聴活動(利用者さんの話し相手)と、会員同士でそれぞれの活動体験を共有する月1回の定例会と「つなづき」の活動リズムは、今の私にちょうどいいです。

前日辺りから、どのような方に出会つか不安と緊張でいっぱいになりながら当日活動に臨みます。「こぢこぢいひとときを一緒に過ごすことができそうです」とお願いながら、言葉を交わし相手の話に五感を総動員します。

話が続かなかつたり表情が固かつたりすると、私自身がかじけそうになったり、むなしさを感じたりします。しかし、笑顔や笑い声、感謝の言葉を耳にしたときは、心がほっこりしうれしくなつて、心身ともに元気になります。

入つて2年目と日が浅いですが、これからも「できることを」で「できること」の気持ちで活動を続けていこうと思つています。

明るいボランティアの方を募集します！



## 児童デイサービス こはる

生きている魚たちが、生きて泳ぎ回る川をあなたに残しておいてやれるだろうか 父さんは…。

平成21年に船岡でオープンした「児童デイサービスこはる」は鳥取県においても歴史が長い児童デイサービスです。子どもたちひとりひとりが自分の手で未来

を輝かせるため、事業所基本理念に「個々の今と将来を見据えた支援を全力で」を掲げています。「遊び」「学び」を様々な体験を通じてひとりひとりの発達段階にあった指導内容を考えます。熱意を持ったスタッフによる丁寧な支援により自立を目指した生活習慣の獲得を目指します。9月より事業所を移転しました。(所在地：宮谷240-15)

### ボランティア募集中！

子どもたちの様々な活動・体験を支援してくださるボランティアの方を募集します。今年の夏も看護学校の生徒の皆さんにお手伝いに来ていただきました。

連絡先

児童デイサービスこはる

八頭町宮谷240-15

TEL

0858(72)04006



## 豆チシキ21

災害ボランティアに参加するために

知っておきたい3つのキーワード

近年、「災害ボランティア」の活動に注目が集まっています。「現地で被災者の手助けをしてあげたい」という気持ちの反面、何をどうしたらいいかわからないという方は多いのではないのでしょうか。今回は災害ボランティアに関心をお持ちの方に、ぜひ知っておいていただきたいことを、3つのキーワードをもとにご紹介します。



### その1 『ボランティアツアー』

災害ボランティアへの参加については、いくつか方法があります。

個人で災害ボランティアに参加される方もいますが、その場合、全ての準備を自分でしなければなりません。また、困ったことが起きた際、フォローしてくれる人がいないというのはリスクが大きいです。

初心者の方には「ボランティアツアー」への参加をおすすめします。ボランティアツアーとは、参加希望者を募り、バスなどでまとまって現地に向かい活動を行なうというものです。ツアーの主催者側で移動や宿泊などの計画を立て、引率してくれるため、個人参加よりも負担が少なく済みます。

### その2 『災害ボランティアセンター』

災害発生後、ボランティアがしたいと多くの方の申し出があります。また、当然のことながら被災者から相談ことや手助けの

要請が関係機関に寄せられます。ボランティアをしたい人と、してもらいたい人をつなぎ、被災地域の課題の解決を促進する役割が災害ボランティアセンターです。現地にいらつしやる方の対応だけでなく、ボランティアの募集状況や現地で借用できる物品についてなど、活動志願者向けの情報を広く発信している場合もあります。

### その3 『ボランティア活動保険』

被災地は建物の倒壊や地盤のゆるみなど、危険がいっぱいです。ケガや事故がないように気を付けるのはもちろんのこと、いざという時のために保険に入っておきましょう。ボランティア活動を行なう方のために「ボランティア活動保険」という保険があります。天災による事故などに対応するプランもあり、現地へ行く前に自宅からお近くの社協で、加入手続きをしてください。

まずは落ち着いて、必要な情報・知識を身に付けることが、「災害ボランティア」に参加する第一歩です。

発行所・問い合わせ先

八頭町ボランティアセンター(八頭町社会福祉協議会内) 八頭町宮谷254番地1 電話 0858(72)0021